

質疑者 北山 順一 委員

質問要旨	答弁者	答弁要旨
<p><b>1. 東日本大震災から学んだ教訓 海からの救援について</b></p> <p>東日本大震災から1年となるが、東北は、まだまだ復興できたとはいえない状況が続いている。なぜこんなに遅いのかと思う。神戸市は、被災地支援を続けてきたが、東日本大震災から、神戸市が学んだことがたくさんあると思う。</p> <p>東日本大震災では、鉄道や道路から空路にいたるまで、大規模な被害を受けたため、広域にわたり長時間ストップした。これにより、被災地の救援のための支援人員や物資の輸送などにも大きな支障をきたした。</p> <p>NHK の大河ドラマ「平清盛」にあやかって、瀬戸内クルージングをずっと提案している。そしてこれがどう地震と結びつくかという、平時は観光、非常時は平時で収集したいろいろな情報で救援に当たれるのではないかと考えている。</p> <p>今回は、港湾の被害も大きく船の利用もなかなか難しかったところもあるが、<u>陸路、空路は全く機能しなかったが、その点、海上からの支援は機能したのではないかと考える。</u>一番力を入れてがんばってくれたのは海上自衛隊だと私は思っている。このように、海上自衛隊には災害時の救援にも応用できる艦艇をたくさん保有していると聞いている。</p> <p>東日本大震災で学んだ教訓を踏まえ、近い将来発生する確率が高い東南海・南海地震などの広域災害に備えて、<u>神戸市の防災対策でも、船を活用した対策をどのように考えて取り組んでいくのか。</u></p> <p><b>【要望】</b> 非常時の救援を看板にあげる限り、船を設計するときに、はじめから、バリアフリーなどの設備については、装備しておかなければならない。自衛隊が神戸に来るときは、消防音楽隊などで歓迎してほしい。自衛隊は、いざというとき大変な役割を果たす。自衛隊にホバークラフトを保持しており、少々の瓦礫ぐらいなら問題なく前に進みことができる。これらのことを踏まえて取り組んでほしい。</p>	<p>川野危機管理監・理事</p>	<p>東日本大震災では、神戸市では、3月11日の大震災発生直後から、先遣隊を派遣し、翌週には50人の避難所支援要員を陸路で送り込んだ。先遣隊が現地の要請を聞き、職員を送り込むことを決定したが、方法については、バスの確保等で苦勞した。人員に関わらず、物資などすべて陸路で行ったのだが、仮に、大量に運べる海上交通が利用できる状況であれば違った支援方法もあったかもしれないと感じる。</p> <p><u>委員提案の海上輸送を利用した災害支援は、非常に大きな役割があるのではないかと考える。地域防災計画の中にも、海上を利用した支援について持っている。</u></p> <p>また、海上自衛隊については、今回の災害支援で大活躍をされており、今年の2月に護衛艦「いせ」が神戸港の入港し、広域搬送の医療訓練も実施したところである。</p> <p>しかしながら、大震災時、津波の影響で着岸できる護岸がなかったという問題もあった。そのことから、実際、地震・津波があったときに、海上からアクセスできるのかというのも一つの課題であると考えられる。</p> <p>また、その船自身に災害時に必要な設備や備品が備わっているかどうかという問題もある。たとえば、ヘリポートの有無、手術室の機能、バリアフリーであるかなど、そのあたりも課題もあると考えている。</p> <p>これらのことより、クルーズ船を、そのまま災害船として利用できるかどうかは、疑問に思う。</p> <p>国が補正予算の中で多目的船の調査として3,000万円を計上しており、災害時にどのように海上から災害支援をするかを検討している。海上からの支援は広域支援となることから、国で考え方を示していただき、船舶も管理していただければ、神戸市にとっても心強いと思う。</p>

質疑者 北山 順一 委員

質問要旨	答弁者	答弁要旨
<p><b>2. こどもの防災教育について</b></p> <p>日本一子育てがしやすい街・神戸創りを提唱しているが、そのなかで、<u>子どもの安全はどのように確保されているのか。</u>何よりも大事なことは、<u>子どもの安全確保であり、危機管理の基本である</u>と考える。そのためにも、<u>子どもが防災意識を高めていくことが必要となるが、そのためにも、教育委員会と十分に連携して、子どもたちの防災意識を高める取り組みを進めていくべきと考えるがどうか。</u></p>	<p>川野危機管理監・理事</p>	<p>教育委員会との教材の作成等については引き続き、連携しながら取り組んでいきたいと思っている。</p> <p>他に、子どもたちの防災活動の取り組みとして、神戸で顕著なものとして、<u>消防局が「防災ジュニアチーム」をつくっている。</u>消火訓練など防災に対する基礎的な取り組みについて丁寧に指導しており、子どもたちが、防災の先導的な役割を担っていくよう願って指導している。その子どもたちが将来、地域で育ち、地域の防災リーダーになってくれたらと思います。</p> <p>この施策は、たぶん他で類をみない施策だと思うので、神戸として自信をもって進めていきたいと考えている。</p> <p>こういった施策と合わせて、子どもの防災意識の高揚に努めていきたい。</p>